

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市中央区西三丁目10-14  
電話 (243) 0141  
13年11月25日

## 国民の自由と民主主義を奪う 秘密保護法案を廃案に追い込もう

### 取材の自由と国民の知る権利を奪う

この法案は、「我が国の安全保障に関する情報のうち特に秘匿するもの」について、その「漏えいの防止」をはかることが目的です（第一条）。自民党の石破幹事長は十七日の都内の講演で、「国家の安全のために防衛や外交で（国民に）知らせてはならない秘密を守るのは当然だ」「国家秘密だから漏えいに重罰（最高刑懲役一〇年）が科せられるのも当然だ」と言い切っています。

これほど公然と憲法を無視した発言には怒りを覚えます。そもそも日本国憲法は、戦前の何ごとも国家優先（国体護持）の思想で国民を戦争に駆り出した政治に決別をして、国民主権と基本的人権の尊重を趣旨としています。石破幹事長の言い方とは逆に、取材の自由や国民の知る権利（二一条）を守るために大臣や国会議員に憲法擁護義務を課しているのです（九九条）。石破氏の発言は憲法に反して日本を七〇年も前の戦前に逆戻りさせようとするものです。これはもちろん安倍首相の考えと同じです。

### 「秘密関係者」は常に監視対象に

法案では、特定秘密の指定をするのは国の行政機関の長です。特定秘密とは、具体的には原発情報、TPP交渉、日米間の軍事・外交機密などです。「福島原発事故は、実は津波ではなく、地震そのもので破壊されたのではないか」「TPP交渉では、実は初めから例外五品目も最後は放棄するつもりなのではないか」といった国民が感じている疑惑がこれに当たります。日本のエネルギーの将来や食糧自給の重大問題にもかかわらず、刑罰の脅しで隠し通そうとするのでしょうか。

中小業者でも原発や兵器産業などの下請で仕事をしている人がいますので、知りえた内情を暴露すれば処罰の対象になります。関係者は、「秘密を漏らす可能性のある人」ということになり、常に身辺調査されることになり

ます。それが「適正評価」制度です。秘密事項に携わる公務員や民間業者のプライバシーが侵害されることになり得ます。そして、真実を追及しようとする新聞記者、研究者、国会議員の調査権が規制対象になります。

### 北朝鮮と同じ国になるのか

アメリカにも秘密保護法がありますが、アメリカには国家秘密を指定する専門機関があって、職員が二五〇〇人もいるのに、日本のこの法案にはありません。行政の長が「これは秘密だ」と言えば、国民は何が秘密かも知らされないまま、関係者は罰を受けられないように萎縮してしまうのではないでしょうか。

これでは日本は民主主義国とは言えなくなり得ます。北朝鮮のミサイル攻撃を防衛するための国家秘密の保護と言いつつ、日本の国情は、情報がことごとく統制された北朝鮮と同じになってしまいます。それが「自由民主」党、「公明」党のやろうとすることだとすれば、ずいぶん看板と違うことになりますね。

### 反対世論を高め、廃案に追い込もう

この法案には、全国紙でも反対声明を出しているところが多く（朝日、毎日など）、「毎日」は十日連続の社説で反対の論陣を張っています。また、ニュースキャスター有志による集会と会見も行われました。二十一日には東京・日比谷野音で「ストップ！『秘密保護法』大集会」も開かれます。世論調査でも反対が六割を超えています。私たちも声をあげ、話題にしてさらに反対世論を盛り上げ、法案を廃案に追い込もうではありませんか。

### 「憲法九条を破壊する集団的自衛権」

#### 講演会

憲法会議主催

秘密保護法案を成立させようとする安倍内閣がめざすのは、アメリカとの軍事一体化です。集団的自衛権を容認して、日本の自衛隊をアメリカ軍とともに世界中に出動できる軍隊に作りかえることがその目的です。その集団的自衛権とは何か？

一月二五日（月）六時三〇分より

ユニゾンプラザ四階大研修室

資料代 五〇〇円 お願いします。

講師

川村 俊夫氏（中央憲法会議代表幹事）当日、同氏著書を販売します。



## 全青協第三八回定期総会参加報告

十一月十七日、東京都で開催された全青協第三八回定期総会に、新潟県青協からは六名が代議員・評議員として参加しました。新潟民商からは長崎誠青年部長が参加しました。

新潟県青協ではこの総会までに、前総会時現勢突破することを目標に県内各民商が部員・対象者の訪問に取り組んできました。その成果もあって、昨年総会時の二七八名を超える二八〇名の県青協となり、総会では三条、長岡、上越の三青年部が拡大目標を達成し、表彰されました。また、これまで青年部の無かった十日町民商でも、この間の



親民商・事務局の共同の取り組みにより部員数四名となり、青年部を確立することができました。新潟からの代表発言では、十日町民商の坂田事務局はこの経験や、県青協交流会や商工フェア・夜オリといったこの一年間の県青協・県内青年部の取り組みを報告しました。

参加者からの感想では、「全国の皆さんの日ごろの活動に負けないような、青年部活動を作っていきたい」「商売や仲間増やしの運動についてなど、今後の活動に活かせる面白い話が聞けた」などが出され、得るものの多い総会となりました。



## 「お客さんの声が最高のBGM」

### 米山支部・新入会員歓迎会開く

十一日、八月に入会したばかりの木村さん(青年部員)の飲食店を会場に、新入会員歓迎会を開きました。参加者は来賓を含め十一名。新入会員(一年間、三名)の参加は一名でした。

水落支部長は「とにかく仲間を増やして下さい。仲間が増えることが、徴税攻勢とのたたかいや要求実現の近道になるんです」と開会あいさつ。松本副会長も「大きい民商をつくっていけば困難なたたかいでも道が開けます。商工新聞も活用して記帳を進め商売に役立てましょう」とあいさつ。野本孝子市議は国保問題とBRT(連節バス)問題をめぐる情勢を話し、「民商の資料から勉強させてもらっています」とあいさつ。

新入会員の木村さんは、税理士に依頼していたが、費用が大変なことと申告書ができて内容の説明がなく不安を感じていたところ、ネットで民商を知り入会に分からないことだらけなので毎週の商工新聞に目を通していますと話しました。その後、お互いの自己紹介に。

会場は六時半から十時過ぎまで話が盛り上がり、遅くなったのを詫びると、木村さんは「お客さんの声が最高のBGM。どんな音楽よりありがたい」と返し、なかなか歓迎会になりました。

## 大腸がん検診終わる 七六二名の結果返しは間もなく

十一月五日に実施された第十五回大腸がん検診が終了し、七六二名が受診しました。三割の受診をめぐして取り組んできた会員の受診は、昨年より1%アップして二四%でした。

中でも五割の会員受診を組織した大江山支部と東山の下支部を先頭に三割以上の組織支部は九支部(昨年十支部)でした。

検査結果返しは、間もなく支部の共済係や支部役員さんを通じて本人に届けられます。



## 陽性で再検査の方に五千円の助成金

血液反応が有り「陽性」との通知を受け取った方は、最寄りの病院で早めに再検査を受けて下さい。新商連共済会から今年も三カ月以内に再検査された方に、五千円の助成金が支給されます。

師走に向かいますが、再検査の方は早めに予約をして安心してお正月を迎えましょう。